

# 事業実施報告

開催日	令和3年10月30日（土）～10月31日（日）	開催時間	10月30日（土）13：00～10月31日（日）14：30
事業名	テンちゃんキャンプ		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	54人
参加学校名等	盛岡市・滝沢市・八幡平市・雫石町内の小学3年生～6年生		
関係機関名	行徳養魚場、みんなのクッキングレッスン		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 〔事業の内容〕

1泊2日の日程で、リンゴのお菓子作り・テンちゃれんじピック（ミニ運動会）・魚釣り・ネイチャーゲームの4つのプログラムを行った。

リンゴのお菓子作りでは、法人ボランティアが、地域の特産品であるリンゴについて寸劇で説明し、参加者の興味関心を高めた。また、滝沢市内で料理教室を主宰する方を講師にお招きし、家庭でも手軽にできるお菓子作りを体験させることが出来た。テンちゃれんじピックでは、〇×クイズ・キンボール・パイプラインの3種目を班対抗で行った。〇×クイズでは、岩手のリンゴや翌日に行われる魚釣り体験に関わる問題も出題し、それぞれの体験が深まるよう工夫したことにより、参加者は意欲的に活動に参加していた。魚釣り体験では、狭い活動場所の中で混乱無く活動を終えることが出来るか懸念されたが、ボランティアの入念な事前準備により、活動をスムーズに終えることができた。ほとんどの参加者が魚釣りをするのは初めてで、魚を釣り上げたときの笑顔が大変印象的であった。ネイチャーゲームでは、リスに食べられた松ぼっくりを発見し歓声をあげる子供たちの姿が見られるなど、参加者が身近にある自然の豊かさに改めて気付く活動にすることが出来た。

### 〔成果〕

・事業後の参加者アンケートでは、事業全体に関する満足度について、100%の参加者から「満足」「やや満足」の評価を得ることが出来た。

・法人ボランティアが、各プログラム毎に担当を決め、それぞれ丁寧に準備を進めたことにより、参加者から「ボランティアの人たちが、全力で支えてくれたことに感動した」「岩手のことをたくさん知ることができてよかった」「初めて会った人や学年がちがう人とたくさん交流できて楽しかった。私たちがサポートしてくれたボランティアの皆さんもやさしくしてくれた。自然とふれあうことができて、とてもいい内容だった」「リンゴがきらいだったけれど、とてもおいしかったので家でも作りたいと思った」等々、活動からたくさんのことを学び、満足した様子が見られる感想が多く寄せられた。

・昨年度から、「地域の魅力を仲間と共に」を企画運営の基本概念として、地域人材や特産品を活動の中に取り入れてきたが、昨年度の経験を経て、このことが子供に体験活動をさせる上で大きな有用性をもつということが、ボランティアの中に浸透してきているように感じる。ボランティアの中からも、「来年度以降もこのスタイルを継続させていきたい」という意見が聞かれた。

・ボランティアが主体となって、事業当日の運営をすることができた。特に安全管理においては、参加者の健康状態等についての、報告・連絡・相談がよくなされ、途中体調不良を訴える参加者が数名いたものの、全員が無事全日程を終えることができた。

### 〔課題〕

・予算の執行や地域人材との渉外については、ほとんど職員が主体となった。来年度以降、この部分についてもボランティア主体で行えるよう指導していく必要がある。

・全体運営に支障は無かったものの、会次第や参加者に感想を求める場面においては、よりよい方法があるように感じられた。来年度以降、場面場面における質の向上をボランティアに心がけさせたい。

## 状況写真



「友達づくり」



「リンゴのお菓子作り・寸劇」



「リンゴのお菓子作り・調理中」



「テンちゃれんじピック」



「魚釣り」



「ネイチャーゲーム」